

## 1年生『進路講演会』報告と生徒感想

日時：平成29年10月26日(木)

10月26日(木)に、佛教大学の原 清治先生をお招きして進路講演会を行いました。生徒が進路を実現するために今後求められてくる力や、その力と日頃の授業でのアクティブ・ラーニングを通した「学び」とのつながりについて分かりやすく教えて頂きました。



### 【生徒感想】

今日のお話を聞いて心にくることがいくつもあり、正直涙が出そうになることもあったほどです。自分は、これという具体的な夢を今日まで見つけられずにここまで来ました。正直勉強にも困っています。でも、夢と勉強はつながっていて、夢を持てば勉強する気が湧いてくると聞いて、これから本気で一からですが夢を見つけて行こうと決めました。原先生のような人を知ることができて本当によかったです。また会えたらいいなと思っています。これからの2年半頑張りたいと思います。 (A組)

「夢は話すこと、誰かに伝えることで必ず叶う」という言葉がとても大切だと思いました。自分ではまだこれといった目標や夢がないので、具体的な夢や目標を見つけることで勉強など全てのことに本気になり、叶えられるようにしたいと思います。大学選びもこれからの人生や生活も自分次第なので、こんな高いレベルの大学は絶対無理と初めから決めつけるのではなく、ここに行きたいと決めたならそこに向け勉強に励むことがとても大切だと思いました。笑いをまじえながらもこれからのためになる話が聞けてよかったです。 (B組)

私は今日の講話を聞いて、自分の将来の夢や目標は必ず家族などに言うことにしようと思いました。自分の中だけで思っているだけでは私はすぐにあきらめてしまうと思うので、「人に言ったからには」という思いを持って、やる気を出せるようにどんな小さい目標でも話すようにして、それを大きな夢へとつなげていけるようにしたいです。面接などで聞かれるような自分の意見をその場で考えて発表するのが私は苦手なので、もっと人との関わりが増えるようにしていき、いろいろな考え方ができるようにしていきたいと思いました。これまでのセンター入試はこの学年で終わってしまうので、1回で合格できるように今から努力していこうと思いました。 (C組)

私は原先生の話聞いて、自分と向き合うことができたと思います。半年間の生活で高校の学習の辛さを知ってつい逃げていました。原先生が言ったとおり、入学してすぐの時は多治見高校で頑張ろう！と思い、将来を明るくとらえ、家で勉強する時間も長かったと思います。でも、最近はテストや日々の学習の辛さからか将来に自信がなくなり、学習時間が減りました。ここでレベルを下げるか下げないかが大切だと思います。だから、今日から気持ちを切り替えたいです。 (D組)

原先生の講話を聞いて、私は少し涙が出そうになりました。自分が今までどれだけ勉強面や生活面でさぼっていたかを振り返ると、情けなく感じました。原先生は、そんな私をまだ間に合う、絶対できるという言葉で、やってやろうという気持ちにさせてくださいました。こんなに一生懸命になって私たちの将来の向けてのエールを送ってくれた原先生に私は本当に本当に感謝しています。まだ、この大学に行きたいという具体的な目標がないので、まず目標をしっかり定めて全力でその応援に応えられるように努力します。 (E組)

今回の講話を聞いて、学んだことがすごく多いような気がします。私は今まで人の前で夢を語ったりすることが好きではありませんでした。けれど、話してみるとやっぱりがんばろうという気にもなれるような気がしました。自分には大切な夢があるので、話してみようと思いました。また、人の話をしっかり聞き、説明する力も今求められていることが分かりました。一回一回の授業を大切に、夢を叶えようとしてしっかり前向きに勉強できる、そんな自分になろうと思いました。 (F組)